



国立病院機構 相模原病院 広報誌
平成29年5月31日号
発行：国立病院機構 相模原病院
発行責任者：金田 悟郎
住所：相模原市南区桜台18-1
電話：042-742-8311 (代表)
F A X：042-742-5314

第74号



京都府宮津市にある日本三景の一つ天橋立（撮影：元経営企画室 冨永 泰平）

第74号 目次

- ◆ 「緩和ケア認定看護師のお仕事」…………… 2
 - ◆ 「第6回登録医連絡協議会」…………… 3
 - ◆ 「循環器内科市民公開講座のご案内」…… 4
 - ◆ 「ハナモモの花」…………… 5
 - ◆ 【国立病院総合医学会報告】
「病棟薬剤業務における処方支援・薬学的
介入事例の集計と分析」…………… 6
 - ◆ 「職員募集のご案内」…………… 7
- 連載** 近隣協力医療施設の紹介コーナー
相模原市中央区「島田整形クリニック」…… 8



SAGAMIHARA
NATIONAL
HOSPITAL

私たちは患者の皆さまの
人権を尊重し、
十分な説明と同意に基づ
き親切で心のこもった医
療を提供します。

「緩和ケア認定看護師のお仕事」

副看護師長

緩和ケア認定看護師 光永 義洋

緩和ケア認定看護師ってなに？

皆さん、こんにちは。「緩和ケア認定看護師」の仕事についてご紹介します。「緩和ケア」とは、がんに限らず重い病を抱える患者さんやそのご家族一人ひとりの身体や心などの様々なたらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアのことです。がん治療が行われる際には、身体の痛みや吐き気、食欲不振、だるさ、気持ちの落ち込みなど、様々な症状が出る場合があります。緩和ケア認定看護師は、初めて病気の説明を受け、これからがん治療を受けられる患者さん、また現在の治療や症状でお困りの患者さんが、ご自分らしい生活を送っていただくことができるよう支援します。

どんなお仕事をしているの？

私は消化器内科病棟で勤務しながら、週一回認定看護師として活動しています。病棟では入院中の患者さんが自分らしく生活できるようにするにはどうすればよいか等を日々、病棟看護師や医師、ソーシャルワーカー等と相談しながら看護しています。

週一回の活動時間では、主に緩和ケアチームの一員として、入院患者さんの症状緩和のサポートをしています。緩和ケアチームには、麻酔科医、精神科医、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、栄養士、臨床心理士と緩和ケア認定看護師が私を含めて2名所属しています。各分野の専門家が集まり、患者さんが抱えている苦痛を軽減し、その人らしい人生が送れるように支援しています。



緩和ケアチームカンファレンスの様子

その他の活動として、「がん患者支援リンクナース委員会」のサポートも行っています。病棟看護師の緩和ケアに対する知識の向上を図れるように、2か月に1回のペースで症例検討会などを行っています。また、院内外の看護師へ向けてオープンセミナーや緩和ケア研修会での講義なども行っています。



緩和ケア研修会講義の様子（講師は筆者）

緩和ケア認定看護師からのメッセージ

緩和ケアと聞くとどうしても「緩和ケア＝終末期」いうイメージがまだまだ多いと思います。しかし、緩和ケアは決して終末期のものではありません。病気の診断をされた時から緩和ケアは始まります。身体や心がつらい時や悩みがある時には、ぜひご相談いただければと思います。

「第6回登録医連絡協議会」

経営企画室長 堀江 順

2月8日（水）に、第6回目となる 国立病院機構相模原病院 登録医連絡協議会を開催致しました。当院は、平成23年9月30日に地域医療支援病院に認定され、現在、医科445名、歯科62名の先生方に登録医になって頂いております。この間、地域の診療所、また一般病院の先生方からの多大なご協力を賜り、順調に患者様の紹介率、逆紹介率を伸ばすことができいております。

当日の協議会では、相模原市医師会会長の竹村克二先生よりご挨拶をいただいたあと、「新しい治療」をテーマに、奥野泌尿器科部長より「前立腺肥大症の新しいレーザー治療」について、篠木消化器内科医長より「大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術」について、説明を行いました。



発表をする奥野泌尿器科部長

また、もう一つのテーマである「新しい診療科」の紹介では、秋本形成外科医長より、当院での形成外科の診療について説明を行いました。

他にも、「小児入院病床の小児病棟化」について、「検査予約システム「カルナ」のブラッシュアップ「さがみサクラねっと」のご紹介」など、盛りだくさんの内容で非常に盛大な会となりました。

この協議会は、日頃お世話になっている登録医の先生方との直接お話しが出来る貴重な機会となっております。先生方からのご意見、ご指導をいただきながら、益々の地域医療連携の発展のために取り組んでいきたいと考えております。

ご参加いただきました先生方、お忙しい中ありがとうございました。



相模原市病院協会会長の黒河内先生(左はじ)よりご挨拶



金田院長の挨拶



独立行政法人
国立病院機構 相模原病院

循環器内科市民公開講座

のご案内

■開催日時：平成29年6月24日（土）
13時～16時（開場12時30分）

■場 所：相模原南メディカルセンター
2階 大会議室

■テーマ：

① 心筋梗塞で急死しないためには

講師 内科系診療部長 森田 有紀子
循環器内科医長

② タバコってどれだけ体に悪いの?!

講師 循環器内科医長 高村 武

③ 体にいい生活習慣とは？

講師 日本看護協会認定
慢性心不全看護認定看護師 中川 奈津子



※講演会終了後、
健康相談会を予定しております。

■お申込み：原則FAXでの受付

■お問い合わせ：相模原病院経営企画室

TEL 042-742-8311

後援：相模原市医師会、相模原市内科医会、神奈川県内科医学
会心臓血管病対策委員会、桜台循環器カンファレンス

ご希望の方は「氏名（ふりがな）・性別・年齢」を記載（任意様式）のうえ、以下の番号まで
お申し込みください。（誤送信にご注意ください。）

FAX 042-742-5314

「ハナモモの花」

元リハビリテーション科医長 丸谷 龍思

■はじめに

春になると桜の開花と相前後して、ハナモモの花も開花してきます。

リハビリ訓練室前には、桜の木と並んで紅色のものがあります。また、第二管理棟とカルテ庫の間には、紅色と白色のそれが、鑑賞してくれる人も少なくひっそりと咲いています。

紅白のハナモモの対比も綺麗ですが、やはり桜の桜色とハナモモの紅色の対比が好きです。



桜の木とハナモモ



紅白のハナモモ

1) 相模原生まれのハナモモ・照手

さらに調べていくと、このハナモモには、驚くことが隠されていました！ハナモモ(花桃)はその名の通り桃の一つですが、花づきが良いことから江戸時代より鑑賞目的で庭木などに用いられることの多い樹木です。従来種は枝垂れ性樹形で枝が四方に広がるものでしたが、相模原市中央区横山にあった神奈川県園芸試験場相模

原分場（平成7年閉場・現市立横山公園敷地内）において品種改良が行われ、ほうき性樹形のハナモモが生まれました。

このハナモモは、近隣を流れる姥川流域に伝わる照手姫伝説にちなみ、「照手紅」、「照手白」、「照手桃」、「照手姫」と名づけられました。また、生食可能な果実が収穫できるハナモモとして「照手水蜜」も開発されました。実生は、プラム位の大きさの実がなりますが、「水蜜」以外は美味しくないので。私は、まだその花や実生は見たことがありません。

何故「テルテ」とついているのか調べてみたら、なんと生まれ故郷は、相模原なんですね。あの「照手姫」から名付けられたようです！

2) 横山公園（園芸試験場跡地）

相模原市中央区の横山公園の第3駐車場に入ると、芝生が広がっている樹林広場があります。そのトイレ、水飲み場のすぐ近くに園芸試験場跡地の石碑があります。石碑の近くには、かつてあった園芸試験場で改良・育成されたハナモモ・照手姫がきれいに咲くそうです。「てるて姫の里 ロマン探訪の小径」という散策コースも用意されています。今度、時間ができたらゆっくりと「テルテ姫」に思いを馳せながら、花見をしつつ、Nordic Walkingしてみてください。



http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/dbps_data/_material_/localhost/kankyou-hozen/521500/pdf/terute_map.pdf

【国立病院総合医学会報告】 「病棟薬剤業務における処方支援・ 薬学的介入事例の集計と分析」

薬剤部 山田 友也

1. 緒言

- 病棟薬剤業務実施加算の導入に伴い、これまで以上に薬剤師による薬物療法の有効性・安全性への貢献が求められている。
- 当院では、平成28年1月より病棟薬剤業務において処方支援・薬学的介入を行った事例を報告する取り組みを始めた。
- 今回、処方支援・薬学的介入事例の集計、分析を行ったので報告する。

2. 方法

1. 報告事例の集計
 - ・集計期間 平成28年1月～6月までの6ヶ月間
 - ・事例の記載内容
- ①患者背景、②患者の主訴・病態の把握、③考えたこと、④提案内容、⑤結果
2. 分析項目
 - (1) 報告件数の推移
 - (2) 報告事例の内容の分類
 - (3) 薬剤師からの提案に対する受け入れ割合

3. 報告事例の記載内容

- 文字数は100文字程度とし、簡易的で継続できる内容とした。
- 薬物療法の支援を行ったあと直ちに入力ができることを目的として、電子カルテの端末上にフォーマットを作成した。

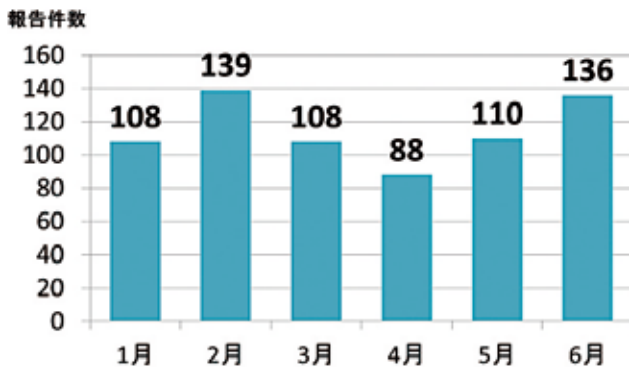
病棟	診療科	患者ID	内容(100文字程度)	報告者
○病棟	○科	○○○	何に対して、何を考え、どのように変更となったか記載する	○○

【コメント】

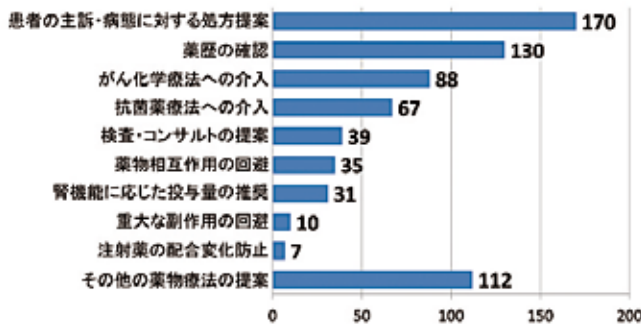
病棟薬剤業務実施加算が導入され、これまで以上に薬剤師による薬物療法の有効性・安全性への貢献が求められています。そこで、病棟薬剤師の業務を可視化するとともに、個々のスキルアップを図ることを目的としてこの取り組みを始めました。

4. 結果

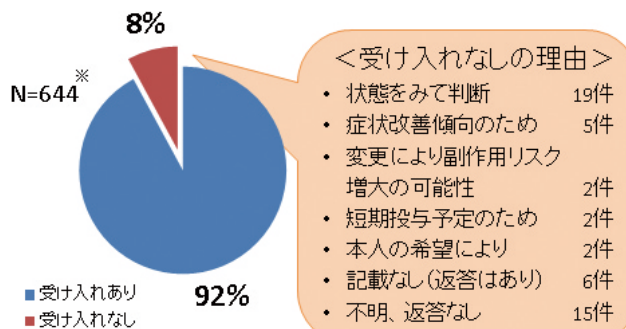
結果(1) 【報告件数の推移】



結果(2) 【報告事例の内容の分類】



結果(3) 【提案の受け入れ割合】



※医師からの問い合わせ事例(45件)は除く

5. 考察

- 結果（1）より、月100件程度の報告件数を維持できていることがわかった。これは、記載内容を簡易的な様式にしたことや電子カルテ端末上で入力できるようにしたことが要因と考える。
- 結果（2）より、報告事例の内容は、患者の主訴・病態に対する処方提案が最も多かった。このことから、病棟で患者の訴えを把握することが処方支援につながっていることが示唆された。
- 結果（3）より、提案に対する受け入れ割合は92%であった。これは、患者情報を把握した上で、病棟薬剤師は医師へ処方提案を行っているため、高い受け入れ割合につながっていると考えられる。

●受け入れなしの理由としては、患者の状態をみて判断するというものが最も多かった。しかし、理由が不明である報告もあり、今後さらなる分析が必要であると考えます。

6. 今後の課題

- 現在は、介入後の転帰が記載の必須事項になっておらず、有効性・安全性の評価が不十分である。今後は処方支援による有効性・安全性への寄与を評価していきたいと考えている。
- 腎機能による減量提案や特定薬剤に対する検査の提案など、類似の報告が多いものに関しては、フローチャート等を作成し業務の標準化を図るとともに、医師・看護師への周知を行っていききたいと考えている。

職員募集のご案内

募集職種、人数	医師事務作業補助者 (非常勤職員) 若干名	業務技術員【看護助手】 (非常勤職員) 若干名	事務助手【病棟・外来クラーク業務】 (非常勤職員) 若干名
採用時期	随時～平成 30年 3月 31日まで (雇用期間は、1事業年度です。 繰り返し採用できる回数は最初の採用を 1回とし、原則 3回までとなります。)	随時～平成 30年 3月 31日まで (雇用期間は、1事業年度です。 繰り返し採用できる回数は最初の採用を 1回とし、原則 3回までとなります。)	随時～平成 30年 3月 31日まで (雇用期間は、1事業年度です。 繰り返し採用できる 回数は最初の採用を 1回とし、原則 3回までとなります。)
職務内容	病院勤務医の負担軽減を図るための医師事務 作業補助業務 1. 電子カルテにて医師の指示の下での 文書作成業務 2. 文書作成システムにて医師の指示の下 での文書作成業務 (いずれもパソコン使用) その他、医師の指示の下での電話対応、 データ入力あり	外来・病棟での看護師業務の補助 (例) 患者搬送、物品清掃、シーツ交換、 体位交換 (看護師と共同で実施)、 環境整備 等	病棟および外来におけるクラーク業務 (例) 入院受け入れ補助、基本情報入力、 書類作成補助、 患者・家族・外来者への対応等 (電話対応、窓口対応) ※初心者の方も親切に指導いたします。
勤務時間	① 8時 30分～15時 00分 ② 9時 30分～16時 00分 ③ 10時 30分～17時 00分 当初は①のみの勤務、いずれは①～③のシフ トで勤務(休憩時間 30分)。 週 30時間勤務を基本とする。	8時 30分～18時 45分のうち 7時間 45分 (休憩時間 60分) 1日 7時間 45分、週 4日勤務 (週 31時間) ※シフト制勤務のため、土日祝日の勤務あり。 夜勤可能者歓迎!	8時 30分～17時 15分の間の 7時間程度 (休憩時間は勤務時間に応じて 30～60分あり) 1週間当たり 32時間以内の勤務
給与等	【時間給】 1,190円 【手 当】 通勤手当 (通勤実態に応じて規定により支給)	【時間給】 1,200円 【手 当】 通勤手当 (通勤実態に応じて規定により支給)	【時間給】 1,190円 【手 当】 通勤手当 (通勤実態に応じて規定により支給)
提出書類	履歴書、職務経歴書等	履歴書、職務経歴書等	履歴書、職務経歴書等

★3 職種共通事項

応募方法	月曜から金曜 (8時 30分～17時 00分) の間に電話連絡の上、提出書類を郵送して下さい。書類選考の後、面接日をご連絡いたします。
書類送付先	〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台 18-1 独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 管理課給与係長 中澤 TEL 042-742-8311 FAX 042-742-5314
その他	上記募集内容の詳細をお知りになりたい方は、上記書類送付先担当者までご連絡下さい。 応募書類は返送いたしませんので、ご了承下さい。 提出書類は封筒に「○○○○○○ (←該当職種名) 応募書類」と朱書きしてお送り下さい。

連載

近隣協力医療施設の紹介コーナー
相模原市 中央区
「島田整形クリニック」



院長
島田 信弘 先生

“動ける喜び、スポーツできる幸せ” をモットーに平成20年9月にJR相模原駅前に開院した整形外科のクリニックです。いつまでも元気で動けることは喜びであり、さらにスポーツを楽しむことは幸せなことだと思います。

私は平成4年より約11年間相模原協同病院に勤務していました。整形外科の扱う疾患の部位は広範囲ですが、勤務医の時には主にスポーツ関係のケガや故障、脊椎脊髄疾患を中心に診ていました。また平成6年より地元三菱重工相模原ダイナボアーズ（ラグビー部）のチームドクターとして試合や合宿に帯同しています。

相模原市はスポーツが盛んなところです。野球、サッカーをはじめいろいろな種目のスポーツが行われ、未就学児、小・中学生、高校生、大学生、さらには企業、地域のクラブなどの多くの団体、組織があり、種々のレベルで老若男女がスポーツを楽しんでいます。そのような人たちに今まで経験した専門的知識や技術を活かし、健康とスポーツ活動に少しでもお役にたてればと思っております。若い人にはケガ、故障の予防を重点的に、中高年の人にはいつまでも楽しくスポーツを続けられるように現状維持を目標に診療しています。治療というよりも、医療相談のような要件で受診される人も少なくありません。



当クリニックはJR横浜線の相模原駅前にありますので、相模原病院とは少し距離があります。しかも鉄道を利用すると一度町田駅まで出ないと行けません。それでも当クリニックで対応できない疾患(とくに脊椎脊髄疾患や神経内科的な疾患など)は、患者さんに専門的な医療機関での治療が必要なることを説明し、相模原病院への受診を勧めています。

今まで経験したことのない疾患、病態も相模原病院をはじめ、いろいろな医療機関の先生方から多くのことを教えていただき感謝しております。いつも相模原病院からの逆紹介の内容を見ながら、“なるほど、そういうことなのか”と勉強させてもらっています。一人で診ることに限界があることを再認識して、専門的な医療機関との連携をとり、今後さらに地域に密着した医療を心がけていくつもりです。

【島田整形クリニック】

診療科：整形外科、リハビリテーション科

診療時間：

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○※	—
PM 3:00 ~ 7:00	○	○	—	○	○	—	—

午後の診療受付はPM6時まで

※土曜日の診療受付はAM11時まで

休診：水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

電話：042-860-7980

ホームページ：<http://shimadaseikei.com/>

住所：〒252-0231 神奈川県相模原市中央区1-2-17

クリスタルサガミハラ4F

JR相模原駅より徒歩1分

